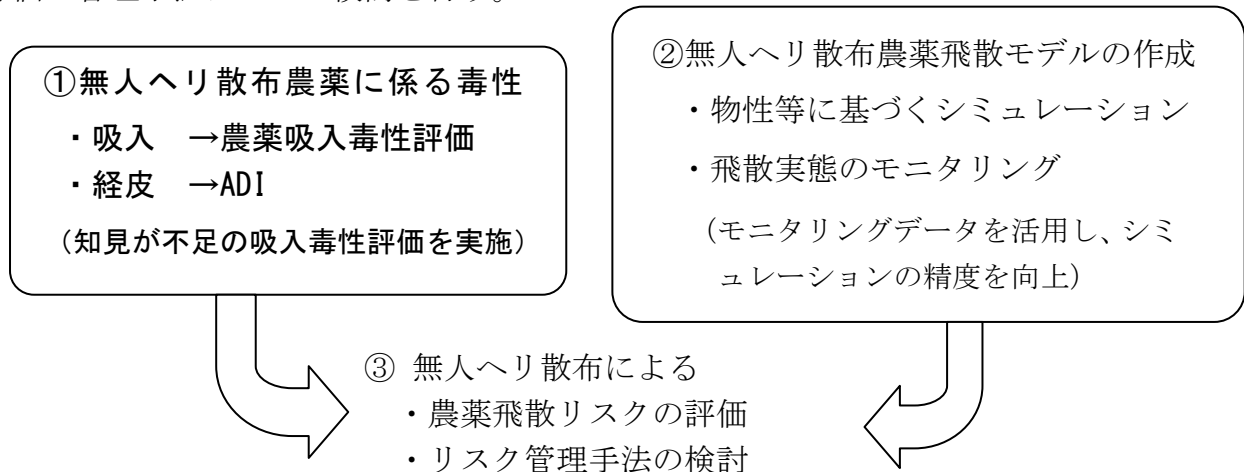


農薬の大気経路による影響評価事業の進捗状況

1. 事業の概要

無人ヘリコプター散布を対象に、農薬の大気経路による人への健康影響に関するリスク評価・管理手法について検討を行う。



2. これまでの実施状況

① 毒性試験

平成 22 年度実施 : フサライド

平成 23 年度実施 : クロチアニジン、フェリムゾン、(トリシクラゾール (中止))

平成 24 年度実施 : カスガマイシン、エチプロール、フルトラニル

※既存データあり : ジノテフラン、エトフェンプロックス、フェニトロチオン

② 飛散モデルの作成

平成 22 年度実施 : 農薬の物理化学的性状の測定
散布時の粒径分布測定

平成 23 年度実施 : 農薬飛散実態モニタリング調査
(その他、農水省によるモニタリング結果あり)
モニタリングデータを活用し、農薬飛散シミュレーションモデルを作成

3. 今後の検討課題

① 飛散モデルの作成

- ・シミュレーションモデルの検証
- ・農薬等ごとのシミュレーションデータの作成

② 飛散リスク評価手法の検討

- ・毒性試験、飛散モデルに基づくリスク評価方針の決定

③ リスク評価の実施

- ・リスク評価の実施
- ・評価結果に基づく管理手法の検討

無人へり防除(水稲)における農薬の使用実績(平成21年度～平成23年度全国平均)

【殺菌剤】

順位	農薬成分名	系統名	使用実績 (1000ha)	ADI (mg/kg体重/日)	備考	
					亜急性吸入毒性試験 データの有無	モニタリング データの有無
1	フサライド	メラニン生合成阻害剤	270	0.04*	22年度試験実施	23年度実施
2	トリシクラゾール	メラニン生合成阻害剤	147	0.03*	23年度試験中止	
3	フェリムゾン	その他の合成殺菌剤	128	0.019	23年度試験実施	
4	カスガマイシン	抗生物質殺菌剤	111		24年度試験実施中	
5	アゾキシストロピン	ストロビルリン系殺菌剤	97	0.18	入手の可能性あり	
6	バリダマイシンA	抗生物質殺菌剤	82			
7	フルトラニル	酸アミド系殺菌剤	48	0.087	24年度試験実施中	
8	ペンシクロン	フェニル尿素系殺菌剤	18	0.053		
9	ジクロシメット	メラニン生合成阻害剤	12	0.005		
10	ジクロメジン	ピリダジン系殺菌剤	9			
11	プロベナゾール	その他の合成殺菌剤	8	0.02*		
12	メプロニル	酸アミド系殺菌剤	6	0.05		
13	ピロキロン	メラニン生合成阻害剤	6	0.015*		
14	フェノキサニル	メラニン生合成阻害剤	5	0.007		
15	チオファネートメチル	ベンゾイミダゾール系殺菌剤	3	0.12*		
16	メミノストロピン	ストロビルリン系殺菌剤	1	0.016		
17	イソプロチオラン	ジチオラン系殺菌剤	0.37	0.1		
18	シメコナゾール	ステロール生合成阻害剤	0.13	0.0085		

【殺虫剤】

順位	農薬成分名	系統名	使用実績 (1000ha)	ADI (mg/kg体重/日)	備考	
					亜急性吸入毒性試験 データの有無	モニタリング データの有無
1	ジノテフラン	ネオニコチノイド系殺虫剤	345	0.22	有	有
2	エトフェンプロックス	ピレスロイド系殺虫剤	154	0.031	有(90日間)	有
3	エチプロール	フェニルピラゾール系殺虫剤	73	0.005	24年度試験実施中	
4	クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	70	0.097	23年度試験実施	
5	シラフルオフェン	ピレスロイド系殺虫剤	49	0.11		
6	ププロフェジン	昆虫成長制御剤	48	0.009		
7	テプフェノジド	昆虫成長制御剤	45	0.016		
8	MEP(フェニトロチオン)	有機リン系殺虫剤	11	0.005*	有	有
9	チアメトキサム	ネオニコチノイド系殺虫剤	4	0.018		
10	クロマフェノジド	昆虫成長制御剤	1	0.27		
11	BPMC(フェノプカルブ)	カーバメート系殺虫剤	0.7	0.012*		
12	DEP(トリクロルホン)	有機リン系殺虫剤	0.6		有	

*出典:厚生科学審議会答申(平成15年水道水質基準制定の際に参照した暫定的なADI)